

## 【利用判断基準】

### ● 星の子ルームを利用できない病状・症状

- ① 伝染性疾患（新型コロナウイルス感染症・水痘・流行性耳下腺炎・麻疹・風疹・インフルエンザ・アデノウイルス・百日咳）の急性期で他児に感染の恐れがある。
- ② RS ウイルス感染症・マイコプラズマ肺炎・嘔吐下痢症の急性期
- ③ 咳がひどく、呼吸困難である。
- ④ その他、かかりつけ医により、入室不可と判断された場合

### ● 星の子ルームの受け入れ対象外の感染症とその許可基準

疾患名	受け入れ可
① インフルエンザ	発症後 5 日を経過し、かつ解熱後 3 日を経過していれば利用可能
② 新型コロナウイルス感染症	発症日を 0 日とし、5 日間かつ症状軽快から 24 時間が経過していれば利用可能（※ <u>お子さんの同居家族の方が新型コロナウイルス感染症に感染している場合は、お子さんの感染も否定できませんので、抗原検査等で陰性の場合のみお預かりいたします。</u> ）
③ 麻疹	解熱後 3 日を経過していれば利用可能
④ 風疹	発疹が消失後は利用可能
⑤ 水痘	すべての発疹が痂皮化すれば利用可能
⑥ 流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺、または舌下腺の膨張が発現したのち 5 日を経過し、かつ全身状態が良好となれば利用可能
⑦ アデノウイルス感染症 咽頭結膜熱（プール熱）	主な症状消退後 2 日経過後、利用可能
⑧ マイコプラズマ肺炎	解熱後 24 時間経過し、病状が回復傾向であれば利用可能
⑨ RS ウイルス感染症	解熱後 24 時間経過し、病状が回復傾向であれば利用可能
⑩ 溶連菌感染症	有効な抗生剤の内服開始後、24 時間経過していれば利用可能
⑪ 百日咳	特有の咳が消失し、5 日間の適正な抗生物質による治療が終了後
⑫ 感染性胃腸炎 (ノロウイルス・ロタウイルス)	嘔吐軽減後利用可能